

関東農政局長賞
受賞者 とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 しかだやまかんきょうほぜん 鹿田山環境保全ネットワーク
(群馬県みどり市)

【農と福祉と健康の里づくり】

1 取組の動機と背景

特定非営利活動法人鹿田山環境保全ネットワークが活動するみどり市鹿田山地域は、地域の貴重な里山として知られ、周囲は手の行き届いた桑園が広がる丘陵地帯であったが、昭和40年代中頃から養蚕業の衰退とともに、一帯は環境悪化の一途をたどりその状況を憂う声があった。

そのような状況を改善すべく、平成16年に土地改良区の役員や地元有志が中心となり里山再生、環境保全に着手し、土地改良区主催のフットパス(=散策道)整備や桑園の抜根整地作業が地域住民参加により行われることになった。

平成18年に、地域自治会や地元の特別支援学校、その他地域の関係諸団体が協力し、環境保全や地域農業の振興を目的とした「鹿田山環境保全ネットワーク」を設立し、平成19年には農地水環境保全対策事業を活用して活動の経営的基盤を確立し、より多くの賛同者、賛同団体を得ながら、多面的機能支払交付金を利用し活動の拡充を図り、活動の継続性を求めて平成29年には組織を特定非営利活動法人に移行した。

「農業生産活動、環境保全活動を通し、障害を持つ人も持たない人も、地域に住む人々が日々元気で健康に過ごせる地域作りを目指す」と地域の新たな目標を定め、法人の基本理念は「農と福祉と健康の里づくり」として活動を展開している。

2 主なむらづくりの内容

5月に用水路の泥上げ、草刈りを実施することにより農用地、用水路等の適正管理、地域環境保全活動を実施中。

鹿田山クリーン大作戦として、6月から10月の毎月第一土曜日に、鹿田山周辺を定期的に清掃することにより、地域の環境及び保全意識が著しく向上。

10月に散策道の整備(木材チップの敷設)を行うことにより、作業をとおして障害者との共生の場として貢献。

サツマイモ栽培、ナタネ栽培を通して子供たちの農業体験の場として活用するとともに、遊休農地の保全管理、地産地消にも寄与。



用水路整備



鹿田山クリーン大作戦



散策道整備



子供たちのサツマイモ栽培